

栄光の軌跡



市民総合文化祭児童・生徒作品展

【硬筆部門】 金賞 1年

【図工美術部門】 銅賞 1年

士別市少年の主張大会

最優秀賞 2年 演題「言葉の力」

※次年度開催（予定）の「少年の主張上川地区大会」へ士別市の代表として推薦されました。

名寄地区新人バドミントン大会（11月10日）

男子シングルス 第3位 ※1月に苫小牧市で行われる全道大会への出場が決まりました。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日に実施した「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果から国語・数学・理科・生徒質問紙について、本校の成果と課題、改善のための方策をお知らせします。なお、士別市教育委員会がまとめた「平成30年度全国学力・学習状況調査における士別市の学力等の分析結果」は市のホームページで公開していますのでぜひご覧ください。

【国語】

成果 ○文学的な文章の読解は定着している。

課題 ▲表現の仕方の効果を適切に捉えることに課題が見られる。

方策 ☆文章を書いたり読み取ったりする際、表現の効果に着目させながら指導する。

【数学】

成果 ○基礎的・基本的な計算の技能は概ね定着している。

課題 ▲複雑な応用問題や関数、資料の活用に課題が見られる。

方策 ☆丁寧な計算指導を行うとともに、前の学年で学習した内容も取り上げながら指導する。

【理科】

成果 ○全体的に基礎的・基本的な知識・技能は定着している。

課題 ▲実験の一部を変更したときの応用力と細かな知識の定着に課題が見られる。

方策 ☆知識として覚えるべきことを丁寧に指導する。考える習慣をつけるように指導する。

【生徒質問紙】

成果 ○自分にはよいところがある。将来の夢や目標をもっている。いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。人の役にたつ人間になりたい。

課題 ▲自分で計画を立てて勉強している。平日の1日あたりの勉強時間が1時間未満。

方策 ☆全ての項目でおおむねできている。今後はスコラ手帳等を活用して計画的に家庭学習に取り組めるよう指導する。

12月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
3	月	朝会	16	日	町民卓球大会
5	水	入試模擬テスト（3年）1、2年期末テスト	17	月	朝会
7	金	参観日	19	水	職員会議
9	日	北都新聞社杯卓球大会	21	金	2学期終業式・大掃除
10	月	支区P研修会	22	土	冬季休業開始（1月16日まで）
11	火	常任委員会	23	日	天皇誕生日
12	水	校内研修 代議員会 食育出前講座	24	月	振替休業日
14	金	巡回文庫	29	土	学校閉庁日（1月3日まで）

士別市立多寄中学校 学校通信

たよろま

校訓 自主協同

第8号

平成30年11月30日発行

校訓「自主協同」の具現化

校長 工藤朝博

11月14日に、士別市の「まちづくり」のリーダーである牧野市長と「人づくり」のリーダーである中峰教育長をお迎えし「子ども夢トーク」を行いました。お二人の前でも、堂々と自分の考えを話す生徒の姿は大変立派でした。当日は、保護者の方と学校運営協議会の委員の方にも参観していただきました。ご多忙の中、ありがとうございました。

事業終了後の生徒の感想文を読んで、この事業が将来の士別を担う子どもたちの育成に、大きな役割を果たしていることを実感しました。

最初の「自分の質問の返答に対する感想」では、「納得できる返答を聞いてとても嬉しかった」「リフトに3億円くらいかかるということは、体育館をつくるのにはもっとかかるから、つくるのは難しいだろうと思った」「市長という立場だから大変なことはたくさんあると思ったのに『ひとつもない』と聞いて驚いた。『覚悟を決めて頑張る』という言葉聞いて立派な人だと思ったし、私も『覚悟を決めて受検を頑張ろう』という気持ちになった」などがありました。

次の「一番印象に残ったこと」では、「市長が『作りたいけど作れない』といったこと。こちらのことを考えてくれていることがわかったから」「すべての質問に対して、丁寧に返答してくださいました。どんな質問にも真剣に考えてくださって、さすが市長さん、教育長さんだと思ったから」「教育長が長野オリンピックのカーリングの日本代表選手だったということ。士別市の人オリンピックに出るといっては数少ないと思うから」「市長は常にスマホをもってすぐに対応できるようにしていること」などがありました。

特に驚いたのが最後の「まちづくりのために自分が今または将来できること」の内容です。「自分でできることをする」「一人ひとりが関心をもつ」「話し合う」「将来的には、士別の政治に積極的に加わること。今できることは、現実味のある意見を出すこと」「小さなことだけど、しっかりと意見を出せるところは出して、よりよいまちにしていきたい」「ただ意見（要望）を話すのではなく、未来の事も考えて言いたい」「今できることは、行事などに参加すること。将来できることは、多寄（士別）に住み続けること」「税金をきちんと払う。市にお金を寄附する」「士別市で行っているイベントに参加する」「特産品を使ったアイデアを考える」「士別がよくなることや学校の直していきたいことをもう少し考える」「士別について、もっと知る」「大人になって一度はここを出ると思うが、何年か経った後に帰ってきて、いろいろな意見を出す」「置き勉について学校で討論する」など、どれも主体的で前向きな意見ばかりです。

生徒の感想文を読んでいて、ふと、これまでの保護者のみなさんの取組を思い出しました。本校の保護者は、子どもたちの将来のために、自ら学習会を重ね中学校の統廃合を決断しました。その後、役員が分担して自治会総会をまわり、自分たちの考えを伝え協力をお願いし、最後は、自治連と共に住民の総意として士別市に要望書を提出しています。「自分たちの将来は自分たちで考え、自分たちで決める」という生き方を選択し実践しており、この保護者がいて、この生徒の考え方があるのだということを感じました。

多寄中学校の70数年の歴史の中で、校訓「自主協同」は代々親から子に受け継がれ、育まれているということを再認識しました。「自主協同」の精神は、これからも地域の中にしっかりと根付き、この地を支えてくれると信じています。



学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

○思いやる広い心・徳育の気(徳育) ○たくましい身体・強靱の気(体育) ○確かな思考力・表現力・判断力・向上の気(知育) ○働くことをいとわぬ精神・忍耐の気(労育)

<めざす生徒像>

真心をもってやりぬく
た たくましい人(体育)
よ よく考える人(知育)
ろ ロマン豊かな人(徳育)(労育)

重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！



3年生進路説明会(11月1日)



平成31年度道立高等学校入学選抜について、入学試験の日程や出願までの手続きなど担任の先生から説明がありました。今年は個別の面談の希望がなかったため、保護者の方と生徒と一緒に教師の説明を聞きました。

全校給食(11月9日・14日・20日)

生徒会が、全校生徒がより仲良くなるように全校給食を計画しました。後期生徒会の初めての活動です。回数を重ねるごとに生徒への指示や連絡も上手になりました。当日はみんなで楽しい時間を過ごしました。



士別市教育研究発表大会 多寄中学校公開授業研究会(11月7日)



1年生が英語、2年生が数学、3年生が音楽の授業を市内の先生方に授業を公開しました。当日は80名近くの先生方が参観する中、生徒は普段どおりの態度で授業に取り組みました。参観された先生方から、「積極的に授業に参加している姿がいいですね」とたくさんのお褒めの言葉がありました。

職場見学(1年生)(11月16日)

キャリア教育として職場見学を行っています。今年は「士別市立図書館」と「DCM ホームマック士別店」を訪問しました。POPづくりの体験や商品の陳列の方法などの説明を受けました。12月の参観日に職場見学で学んだことを発表しますので、たくさんのお褒めの方の参観をお願いします。



子ども夢トーク(11月14日)



牧野市長と中峰教育長が生徒と一緒に今後のまちづくりについて話し合いました。生徒からは「地元の野菜を使った製品開発」や「閉校後の多寄中学校や中多寄小学校の施設活用」などについて質問や要望がありました。たくさんの質問にも市長さんと教育長さんは丁寧に答えてくださりとても貴重な体験でした。

全校スポーツ交流(11月21日)

生活常任委員会が、全校生徒が仲良くなることと体力の向上のために企画しました。今回はドッチボールを行いました。お昼休みの時間にみんなで楽しく活動できました。



赤い羽根共同募金(11月20日~22日)

今年も生徒会が赤い羽根共同募金を行いました。3日間で4,954円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。集まった募金は11月26日に多寄出張所に届けました。



